

## 平成18事業年度 国立大学法人岡山大学の決算について

### 1 はじめに

本学では、平成18事業年度の財務諸表及び決算報告書等を文部科学大臣に提出し、今般、9月11日付けで承認を受けましたので、ここに公表させていただきます。

この財務諸表は、企業会計原則を基に国立大学法人の特性を考慮した国立大学法人会計基準等により作成したもので、本学の財政状況及び運営状況を表すものです。

### 2 決算の概要

#### (1) 貸借対照表

(資産の部) 1,289億円(対前年42億円)

固定資産は、病棟Ⅱ期工事、工学系総合研究棟改修工事、農学部校舎改修工事等を行った結果、減価償却費控除後においても前年度より27億円増加しています。流動資産は、運営費交付金債務、寄附金債務、未払金の増加などで現金及び預金が増加している一方、SPD(病院内で使用される医療材料等を一元的に管理・供給する院内物流システム)導入により医薬品及び診療材料の在庫額が減少するなど差引き14億円の増加となり、結果、資産は前年度より42億円増加しています。

(負債の部) 503億円(対前年42億円)

固定負債は、資産見返負債の増加や病棟Ⅱ期工事関係等にかかる国立大学財務・経営センターからの借入金などにより、前年度より23億円増加しています。流動負債は、運営費交付金債務(主に退職手当)、寄附金債務、未払金の増加などで19億円増加し、結果、負債は前年度より42億円増加しています。

(資本の部) 786億円(対前年0億円)

資本剰余金は、施設整備費補助金、目的積立金の取崩等による資産の取得により13億円増加していますが、損益外減価償却費や損益外減損損失により19億円減少するなど差引き前年度より6億円減少しています。利益剰余金は、17年度の利益剰余金のうち、本学の運営努力により生じた利益で、文部科学大臣から承認を受けた目的積立金の取崩や会計処理上生じた利益である積立金を計上した結果、6億円の増加となっており、結果、資本は前年度とプラスマイナスゼロとなっています。

#### (2) 損益計算書

(経常費用) 517億円(対前年12億円)

経常費用の構成要素としては、人件費55%、診療経費26%、それ以外の業務費15%、一般管理費3%、財務費用1%となっています。

受託研究費は受入額の増に伴い5億円の増、人件費は医員の単価改定、Ⅱ期病棟開院に向けての看護師の採用、非常勤職員から常勤職員(特別契約職員)へ雇用形態の変更等による増、役員の退職給付の減などにより4億円の増となっています。また、診療経費は収益の増に伴い増加となりましたが、18年度から附属病院セグ

メントにおいて、診療経費から教育・研究・一般管理費に切り分けを行った結果、3億円の減となりました。その反面一般管理費は3億円の増（うち診療経費からの計上区分変更分2.5億円）、研究経費は2億円の増（うち診療経費からの計上区分変更分1.5億円）となっています。その他（教育、教育研究支援、受託事業、財務費用等）1億円の増で、結果、経常費用は前年度より12億円増加となっています。

（経常収益） 527億円（対前年 11億円）

経常収益の構成要素としては、附属病院収益38%、運営費交付金収益34%、授業料等の学生納付金収益16%、受託研究等外部資金収益7%、施設費・雑益等3%、資産見返負債戻入益2%となっています。

附属病院収益は増収努力により2億円の増、運営費交付金収益は交付額の減少等により1億円の減、学生納付金は在学者の増加等により1億円の増、受託研究等外部資金収益は受入額の増に伴い5億円の増、施設費、補助金、受託研究等の間接経費等は合わせて4億円の増、減価償却費の減により資産見返負債戻入は1億円減となり、結果、経常収益は前年度より11億円増加となっています。

（当期総利益） 11億円（対前年 △1億円）

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益に臨時損益を増減し、目的積立金取崩額を加えた当期総利益は11億円となっています。

このうち増収又は節減など本学の運営努力によって生じた利益が6億円、附属病院に関する借入金の元金償還額と借入金により取得した資産の減価償却費との差額が利益要因となるなど国立大学法人特有の会計ルールにより生じた利益が5億円となっています。本学の運営努力によって生じた利益については、今般の財務諸表及び決算報告書等とは別に目的積立金として文部科学大臣の承認を受け、中期計画を踏まえ効率的に執行していく予定です。

### 3 おわりに

国立大学法人運営の基盤的財源である運営費交付金には、「効率化係数」、「経営改善係数」が課せられ、平成19年度からは前年度予算額から△1%減と極めて厳しい財政運営が求められています。

本学では、平成20年4月のⅡ期病棟開院に向けて、平成18事業年度と同様平成19事業年度においても借入金による設備投資等が計画されるなど財政的に厳しい状況が続きますが、全学的な経費節減対策の実施や附属病院収入など自己収入の増額等を図り、業務運営の効果的・効率的な実施や財務内容の改善・充実など、より一層の経営努力をすることにより、教育研究活動の向上等を図り国立大学法人としての社会的責務を果たしていく所存です。

岡山大学理事（財務・施設担当）

梶 原 憲 次

(本表については、『国立大学法人の会計と実務・新日本監査法人編』を引用し作成したものです。)

貸借対照表  
(平成19年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
I 固定資産		I 固定負債	
1 有形固定資産		資産見返負債	
土地	52,110,223,057	資産見返運営費交付金等	1,285,894,655
建物	45,873,748,167	資産見返補助金等	27,529,265
減価償却累計額	△ 6,865,042,517	資産見返寄附金	1,446,446,466
減損損失累計額	△ 57,376,023	資産見返物品受贈額	8,442,624,539
構築物	2,570,344,389	建設仮勘定等見返運営費交付金等	10,109,230
減価償却累計額	△ 669,618,746	建設仮勘定見返施設費	915,489,903
機械装置	9,434,125	建設仮勘定等見返寄附金	8,744,375
減価償却累計額	△ 2,278,840	長期前受受託研究費等	9,740,661
工具器具備品	11,998,817,297	長期前受受託事業費等	9,304,009
減価償却累計額	△ 6,369,799,946	国立大学財務・経営センター債務負担金	17,731,108,480
図書	7,766,231,234	長期借入金	
美術品・收藏品	94,861,052	国立大学財務・経営センター借入金	6,725,809,000
船舶	22,602,199	引当金	
減価償却累計額	△ 12,379,591	退職給付引当金	18,644,820
車両運搬具	71,418,516	長期未払金	404,081,365
減価償却累計額	△ 39,735,195	承継剰余金債務	107,279,200
建設仮勘定	6,917,771,892	固定負債合計	37,142,805,968
有形固定資産合計	113,419,221,070	II 流動負債	
2 無形固定資産		運営費交付金債務	1,800,894,023
特許権	8,597,610	寄附金債務	2,851,465,417
電話加入権	2,476,320	前受受託研究費等	100,239,405
ソフトウェア	127,174,598	前受受託事業費等	194,080,902
特許権仮勘定	164,103,203	預り金	269,251,574
無形固定資産合計	302,351,731	一年以内返済予定長期借入金	76,544,000
3 投資その他の資産		一年以内返済予定国立大学財務・経営センター債務負担金	1,777,836,893
投資有価証券	1,128,167,190	未払金	5,935,275,605
長期貸付金	25,200,000	前受収益	10,150
長期前払費用	36,571	未払費用	50,413,955
長期延滞債権	87,775,991	未払消費税等	10,096,400
徴収不能引当金	△ 80,616,884	引当金	
投資その他の資産合計	1,160,562,868	賞与引当金	112,490,994
固定資産合計	114,882,135,669	流動負債合計	13,178,599,318
II 流動資産		負債合計	50,321,405,286
現金及び預金	10,047,258,182	資本の部	
未収学生納付金収入	46,423,200	I 資本金	
未収附属病院収入	3,470,883,943	政府出資金	69,833,864,061
徴収不能引当金	△ 48,180,018	資本金合計	69,833,864,061
未収入金	156,444,675	II 資本剰余金	
有価証券	24,985,876	資本剰余金	10,229,221,176
たな卸資産	5,846,084	損益外減価償却累計額(一)	△ 5,822,827,486
医薬品及び診療材料	240,313,799	損益外減損損失累計額(一)	△ 57,376,023
前払金	39,189,444	資本剰余金合計	4,349,017,667
前払費用	927,027	III 利益剰余金	
未収収益	776,264	教育研究診療環境整備積立金	382,039,307
その他流動資産	18,305,968	積立金	2,876,955,765
流動資産合計	14,003,174,444	当期未処分利益	1,122,028,027
		(うち当期総利益)	(1,122,028,027)
		利益剰余金合計	4,381,023,099
		資本合計	78,563,904,827
資産合計	128,885,310,113	負債資本合計	128,885,310,113

国立大学法人が教育研究の基礎となる図書・美術品をどのくらい保有しているかを表示しています。

国立大学法人がどのくらい資産を保有しているかを表示しています。

国立大学法人が研究の成果として特許権をいくらか保有しているかを表示しています。

債権の滞留、徴収不能がないよう回収されているかを表示しています。

たな卸資産、医薬品等の管理が適切にされているかを表示しています。

取得した固定資産見合いで計上され、将来現金の支出を伴わない負債を表示しています。

国立大学法人が外部にどれだけの債務を負っているかを表示しています。

国立大学法人が自主財源で負担する退職手当がどれくらいあるかを表示しています。

国立大学法人が次年度に予算をどれだけ繰り越したかを表示しています。

国立大学法人が次年度に支払う借入金の元金返済額を表示しています。

国立大学法人が次年度に未払債務をどれだけ継続したかを表示しています。

国立大学法人の財産的基礎部分を表示しています。

(注1) 役職員の退職給付の見積額は 19,609,476,714円です。  
 (注2) 国立大学法人法附則第12条第3項の規定に基づき、独立行政法人国立大学財務・経営センターが承継した借入金債務を保証しています。  
 なお、本法人に対し義務づけられた独立行政法人国立大学財務・経営センターへの拠出債務は、国立大学財務・経営センター債務負担金として表示しています。

国立大学財務・経営センター債務負担金 19,508,945,373円  
 (注3) 国立大学財務・経営センター借入金の借入に伴い、土地の一部を担保に供しています。  
 担保提供資産残高 3,329,526,000円 対応する債務残高 6,802,353,000円

貸借対照表は、国立大学法人の決算日(3月31日)における財政状態を表しています。  
 貸借対照表は資産の部、負債の部、資本の部に分けて表示されています。

損益計算書  
(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額		
経常費用			
業務費			
教育経費		1,862,439,816	
研究経費		2,976,028,994	
診療経費			
材料費	8,104,506,087		
委託費	1,621,608,801		
設備関係費	2,767,624,291		
研修費	339,607		
経費	976,119,391	13,470,198,177	
教育研究支援経費		696,006,249	
受託研究費		1,617,025,222	
受託事業費		469,319,219	
役員人件費		125,368,181	
教員人件費			
常勤教員給与	15,474,062,295		
非常勤教員給与	1,388,492,902	16,862,555,197	
職員人件費			
常勤職員給与	10,444,101,670		
非常勤職員給与	1,146,956,844	11,591,058,514	49,669,999,569
一般管理費			1,427,562,725
財務費用			
支払利息			552,518,390
雑損			6,830,713
経常費用合計			51,656,911,397
経常収益			
運営費交付金収益			18,017,607,825
授業料収益			7,356,801,709
入学金収益			1,041,972,000
検定料収益			201,799,500
附属病院収益			20,258,781,467
施設費収益			145,327,451
補助金等収益			185,968,412
受託研究等収益			1,174,789,938
受託研究等収益(国又は地方公共団体)			447,417,382
受託事業等収益			394,984,543
受託事業等収益(国又は地方公共団体)			83,561,894
寄附金収益			1,305,293,616
財務収益			
受取利息		20,579,959	
有価証券利息		8,935,841	
為替差益		455,687	29,971,487
雑益			
財産貸付料収入		135,527,967	
手数料収入		19,030,044	
物品等売却収入		54,937,128	
受託研究等収入		375,245,324	
研究関連収入		256,296,000	
その他		114,040,792	955,077,255
資産見返負債戻入			
資産見返運営費交付金等戻入		177,071,353	
資産見返補助金等戻入		4,799,508	
資産見返寄附金戻入		252,668,584	
資産見返物品受贈額戻入		654,575,807	
建設仮勘定等見返運営費交付金等戻入		392,400	
建設仮勘定等見返寄附金戻入		579,735	1,090,087,387
経常収益合計			52,689,441,866
経常利益			1,032,530,469
臨時損失			
固定資産除却損			17,138,539
承継剰余金費用			29,000,000
臨時利益			
承継剰余金債務戻入			29,000,000
当期純利益			1,015,391,930
目的積立金取崩額			106,636,097
当期総利益			1,122,028,027

費用がどの目的にいくらかかったかを表示しています。

それぞれの目的別に何のコストがかかったかの内訳は、附属明細(14)で表示しています。

人件費がいくらかかったかを表示(定員外の非常勤も人件費として表示)しています。

大学の収入内訳を表示しています。

運営費交付金対象事業収支差額 638百万円  
借入金元金償還額と取得資産の減価償却費の差額 437百万円  
自己収入による資産取得額と減価償却費の差額 323百万円  
たな卸資産の購入額と払出額の差額 △149百万円  
附属病院収入と附属病院収益の差額 △167百万円  
その他 40百万円

損益計算書は、国立大学法人の運営状況を表しています。  
損益計算書では、教育・研究・診療経費として目的別にコストを表示しています。  
損益計算書の結果生じた利益は、経営努力の認定を受けることになります。

**キャッシュ・フロー計算書**  
(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:円)

損益計算書の収益・費用の概念と異なり、現金の収支を表すもので損益計算書の金額と異なります。

資金の収支の流れはどの活動から資金を調達し、どの程度業務や設備投資を行っているかを表示しています。

<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 16,929,742,060
人件費支出	△ 28,724,790,443
その他の業務支出	△ 1,375,417,316
運営費交付金収入	18,885,146,000
授業料収入	6,857,505,424
入学金収入	1,027,414,800
検定料収入	201,799,500
附属病院収入	20,398,557,832
受託研究等収入	1,680,288,436
受託事業等収入	534,837,387
補助金等収入	201,442,900
寄附金収入	1,523,280,582
科学研究費補助金等預り金純増減	△ 31,081,740
奨学金貸付金純増減	△ 9,600,000
その他	909,041,829
小計	5,148,683,131
<b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,148,683,131</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の取得による支出	△ 2,647,330,500
有価証券の償還による収入	2,497,562,500
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 6,402,506,527
有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入	69,300
施設費による収入	<u>1,822,187,500</u>
小計	△ 4,730,017,727
利息及び配当金の受取額	<u>30,022,564</u>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 4,699,995,163</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
国立大学財務・経営センター債務負担金の返済による支出	△ 1,629,375,163
長期借入金の返済による支出	△ 39,900,000
リース債務の返済による支出	△ 113,913,360
長期借入金による収入	<u>3,528,621,000</u>
小計	1,745,432,477
利息の支払額	<u>△ 555,161,900</u>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,190,270,577</b>
<b>IV 資金増減額</b>	<b>1,638,958,545</b>
<b>V 資金期首残高</b>	<b><u>8,408,299,637</u></b>
<b>VI 資金期末残高</b>	<b><u>10,047,258,182</u></b>

(注1) 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	<u>10,047,258,182</u>
資金の期末残高	<u>10,047,258,182</u>

(注2) 重要な非資金取引

①現物寄附の受入による資産の取得	
構築物	9,198,475
工具器具備品	471,355,108
図書	<u>18,225,368</u>
計	<u>498,778,951</u>
②ファイナンス・リースによる資産の取得	
工具器具備品	<u>72,450,000</u>

キャッシュ・フロー計算書は、国立大学法人の資金収支の状況を表すものです。  
キャッシュ・フロー計算書は、業務活動・投資活動・財務活動の区分を設けており、国立大学法人の資金収支を活動別に表示しています。

利益の処分に関する書類（案）

（単位：円）

I 当期末処分利益		1,122,028,027	
当期総利益	1,122,028,027		損益計算書上の利益と同額
II 利益処分類			
積立金	484,657,456		
国立大学法人法第35条において準用する 独立行政法人通則法第44条第3項により 文部科学大臣の承認を受けようとする額			
教育研究診療環境整備積立金	637,370,571	1,122,028,027	目的積立金として承認を受けようとする額

利益の処分に関する書類は、国立大学法人の利益処分の内容を明らかにするための書類です。  
 国立大学法人の利益処分は、文部科学大臣が評価委員会の意見聴取・財務大臣との協議のうえ、承認を行います。

国立大学法人等業務実施コスト計算書  
(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:円)

損益計算書上の費用の額のうち、国民の皆様の負担額がどれくらいあるかを表示しています。

I 業務費用			
(1) 損益計算書上の費用			
業務費	49,669,999,569		
一般管理費	1,427,562,725		
財務費用	552,518,390		
雑損	6,830,713		
臨時損失	<u>46,138,539</u>	51,703,049,936	
(2) (控除) 自己収入等			
授業料収益	△ 7,356,801,709		
入学金収益	△ 1,041,972,000		
検定料収益	△ 201,799,500		
附属病院収益	△ 20,258,781,467		
受託研究等収益	△ 1,622,207,320		
受託事業等収益	△ 478,546,437		
寄附金収益	△ 1,305,293,616		
財務収益	△ 29,971,487		
雑益(研究関連収入を除く)	△ 698,781,255		
資産見返寄附金戻入	△ 252,668,584		
建設仮勘定等見返寄附金戻入	<u>△ 579,735</u>	<u>△ 33,247,403,110</u>	
業務費用合計			18,455,646,826

国立大学法人独自の意志以外の国の意志により本来負担すべきコストを表示しています。

II 損益外減価償却相当額			
損益外減価償却相当額	1,876,809,399		
損益外固定資産除売却相当額	<u>150,448,774</u>	2,027,258,173	
III 損益外減損損失相当額			57,376,023
IV 引当外退職給付増加見積額			△ 140,615,049

国立大学法人であることで無償・減額されたものについて、得られなかった金額を機会費用として仮定計算を行った額を表示しています。

V 機会費用			
国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	108,428,922		
政府出資の機会費用	1,234,963,056	1,343,391,978	
VI (控除) 国庫納付額			0

6項目の合計が国立大学法人の行政コスト(国民の皆様の負担額)を表示しています。

VII 国立大学法人等業務実施コスト			<u>21,743,057,951</u>
--------------------	--	--	-----------------------

(注1) 国又は地方公共団体の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法  
地方公共団体の占用料徴収条例や近隣の地代などを参考に算定しています。

(注2) 政府出資等の機会費用の計算に使用した利率  
10年利付政府保証債の平成19年3月末利回りを参考に1.650%で計算しています。

業務実施コスト計算書は国立大学法人を運営する上で納税者たる国民の皆様が負担しているコスト情報を表示するものです。  
業務実施コスト計算書は国立大学法人が将来的にも業務を実施する主体としてふさわしいかを評価する上で有用であると位置付けられています。

# 財務諸表の関連図

(単位:百万円)

## 貸借対照表

【期末日の財政状態】

資産	負債
128,885	50,321
	資本
	78,564
現金及び預金 (内数)	未処分利益(内数)
10,047	1,122

## 損益計算書

【会計期間の運営状況】

経常費用	自己収入等に基づく収益 (内数)
51,657	33,247
臨時損失	経常収益
46	52,689
当期総利益	臨時利益
1,122	29
	107
	目的積立金取崩

## 国立大学法人等業務実施コスト計算書

【国民負担に帰せられるコスト】

費用	自己収入等に基づく収益
51,703	33,247
	国立大学法人等業務実施コスト
	21,743
3,287	

損益外減価償却等相当額  
損益外減損損失相当額  
引当外退職給付増加見積額  
機会費用

## キャッシュ・フロー計算書

【会計期間の活動区分別資金の流れ】

支出	収入
58,459	68,506
期末残高	
10,047	

## 利益の処分に関する書類

【未処分利益の処分内容】

利益処分量	1,122
(内訳)	
積立金	485
目的積立金	637